

基準値改定のお知らせ

改定履歴

平成 29 年 (2017 年)

| 日付 | 検査項目 |
|------------------|--|
| 平成 29 年 2 月 28 日 | LD(LDH)、アミラーゼ (AMY)、 コリンエステラーゼ (ChE、Ch-E)、LAP |

平成 25 年 (2013 年)

| 日付 | 検査項目 |
|------------------|------------------------------------|
| 平成 25 年 4 月 10 日 | AST (GOT)、ALT (GPT)、 γ -GTP |

平成 29 年 2 月 28 日
 一般財団法人淳風会 健康管理センター

基準値改定のお知らせ

平成 29 年 4 月 1 日 検査分より 以下の臨床検査項目について、標準化のため、現行の基準値から「JCCLS(日本臨床検査標準協議会)共用基準範囲を基にした基準値に変更致します。ご理解とご協力のほど よろしくお願い申し上げます。

| | 現行 | | 変更後 | |
|-------------------------|---------------|---|---|------------------------|
| LD(LDH) (乳酸脱水素酵素) | 80～250 U/L | JSCC 標準化対応法 | 124～222 U/L | JSCC 標準化対応法 |
| アミラーゼ (AMY) | 22～100 U/L | p-ニトロフェニルベンジル- α - マルトヘキサオシト (BG5P)基質法 | 44～132 U/L | JSCC 標準化対応法 |
| コリンエステラーゼ (ChE、Ch-E) | 67～219 U/L | ヨウ化 5-メチル-2-テニルチオ コリン基質法 | (男) 240～486 (女) 201～421 U/L | JSCC 標準化対応法 |
| LAP (ロイシンアミノペプチターゼ) | 21～74 U/L | L-ロイシル-p-ニトロアニト 基質法 | 33～75 U/L | L-ロイシル-p-ニトロアニト 基質法 |

基準値改定のお知らせ

淳風会健康管理センターでは、法令・規則・各学会から出される基準値・ガイドライン等を参考にして適宜健康診断判定基準値の見直しを行っています。

今年度は【肝機能判定】を見直し、改定を行いました。主な改定点は下記の通りです。

- 肝機能検査の基準値は、日本人間ドック学会の基準値により近い数値に変更しました。

《従来の基準》

| 検査項目 | 標準値 | 境界値 | 軽度異常 | 異常 | 高度異常 |
|-----------|-----|-------|--------|-------|------|
| AST (GOT) | ≤30 | 31-40 | 41-60 | 61-99 | ≥100 |
| ALT (GPT) | ≤30 | 31-40 | 41-60 | 61-99 | ≥100 |
| γ-GTP | ≤50 | 51-73 | 74-100 | ≥101 | |



《変更後》

| 検査項目 | 標準値 | 境界値 | 軽度異常 | 異常 | 高度異常 |
|-----------|-----|-------|--------|---------|------|
| AST (GOT) | ≤30 | 31-35 | 36-50 | 51-99 | ≥100 |
| ALT (GPT) | ≤30 | 31-40 | 41-50 | 51-99 | ≥100 |
| γ-GTP | ≤50 | 51-80 | 81-100 | 101-199 | ≥200 |

- 総合健診結果報告書《肝臓・胆のう系検査》所見欄に従来記載していましたが『問題なし』の所見表現を『肝機能境界値』の表現に変更しました。
- 判定区分について、従来【H：要治療】区分まで設定していましたが、今回の見直しで【G：要精密検査】区分にとどめることとしました。

標準値（正常値）の変更はありませんので、従来の【A：異常なし】区分の基準に変更はありません。

淳風会といたしましては労働安全衛生法等の法制度や各学会の基準値変更により今後も基準値の変更を随時行っていく予定です。

受診者の皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、医学的により適正な判定とするための変更とご理解頂き、ご了承いただきますようお願い申し上げます。